



根岸森林公園では、子育て支援の一環として、常設での導入は公園としては全国初の試みとなる、屋外設置型ベビーケアルーム「mamaro solanaTM」を設置します。根岸森林公園はファミリー層の利用が多く、子育て世代が安心して利用できる個室型の授乳室の整備に向けて、令和5年の秋に本格導入のための実証実験を行いました。アンケートによる利用者からのニーズを反映させ、今回導入の運びとなりました。

1 利用開始日 令和7年2月1日(土)

2 利用時間 9:00~17:00

3 設置場所 レストハウス1階

4 設置施設 屋外設置型ベビーケアルーム「mamaro solanaTM」

5 令和5年実証実験時の利用者の声

- ・公園のトイレのおむつ替え台は、綺麗でないイメージがあるが、エアコン付きでびっくりした。綺麗で快適であった。
- ・この授乳室があるから根岸森林公園を選んだ。常時施錠というのは安心。
- ・荷物を置く台が必要。フック1個だと足りないと思う。



▲ベビーケアルーム



▲設置場所★



▲設置風景(令和5年実証実験)

横浜市SDGs認証制度



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会



GREEN×EXPO 2027を
応援しています

お問合せ先

管理部管理課 課長 伊藤 高志 Tel 045-228-9432

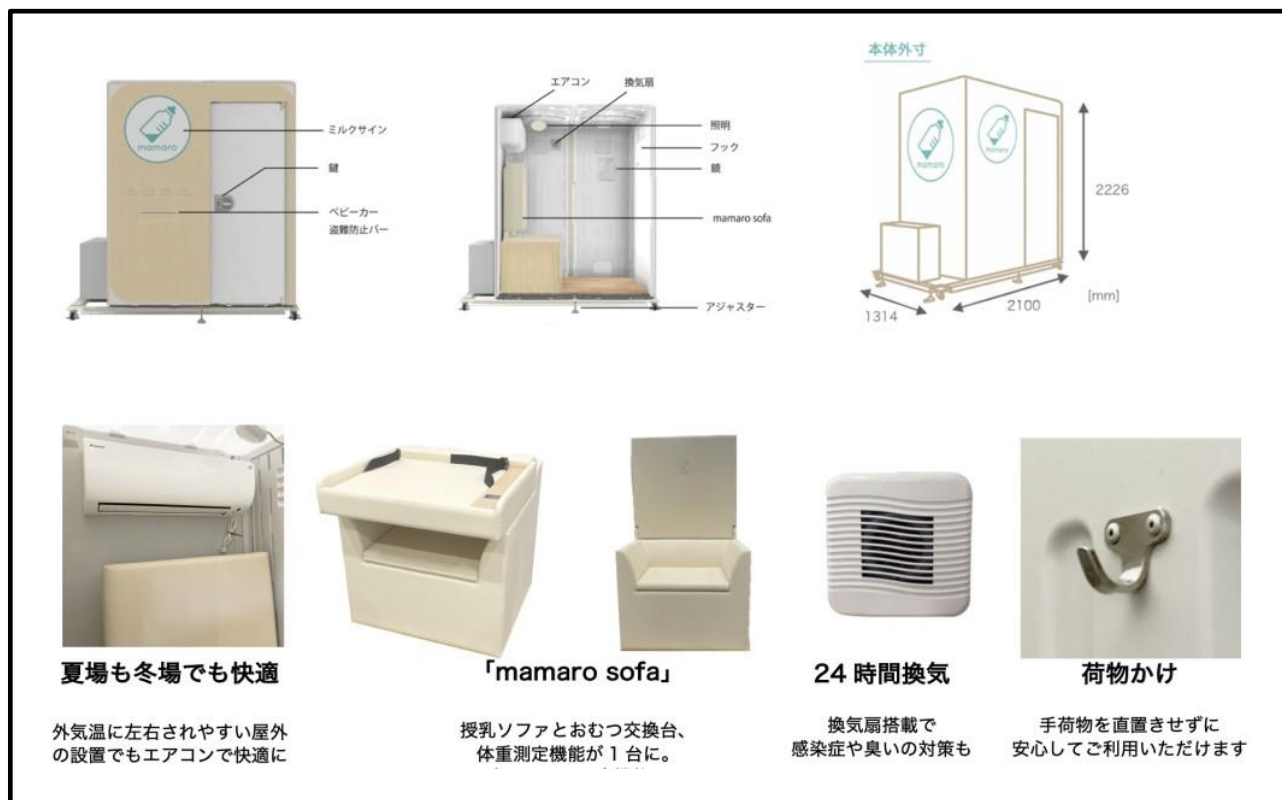
(裏面あり)

<参考資料>

■ 屋外設置型ベビーケアルーム「mamaro solana™」 概要

「mamaro solana™」はTrim株式会社と株式会社ハマネツのコラボ商品として令和5年4月に開発され、根岸森林公園では令和5年10月8日～11月5日まで実証実験を実施。これまで設置が困難であったイベント会場等の屋外施設に設置することができるようになり、多くのファミリーから好評を得ました。

屋内用の設置型ベビーケアルーム「mamaro™」はすでに多くの駅や公共施設、ショッピングモール、スタジアムなどに設置され沢山の利用者から好評を得ています。「mamaro™」の設置台数：777台（令和7年1月24日現在）



《Trim 株式会社》

【設立】2015年11月 【本社】横浜市中区諏訪町16番 【代表】長谷川 裕介

【HP】<https://www.trim-inc.com/>

■ 根岸森林公園 概要

根岸森林公園は慶応2（1866）年に居留外国人の要望により開設された、日本初の洋式競馬場「根岸競馬場」跡地に整備された公園です。広大な芝生広場とそれを取り囲む豊かな樹林地、横浜市内有数の花見の名所である桜山、多様な種類を有する梅林があります。

また、根岸競馬場の面影を残す旧一等馬見所は、アメリカの建築家 J.H. モーガンが設計し昭和4（1929）年に完成しました。平成21（2009）年に近代化産業遺産に認定されています。

【住所】横浜市中区根岸台

【交通】電車 JR 京浜東北・根岸線「根岸」駅または「山手」駅下車徒歩約15分

バス ①JR 京浜東北・根岸線「根岸」駅または「桜木町」駅から市営バス21系統「旭台」
「滝の上」下車すぐ

②市営地下鉄・JR・京急・相鉄・東急「横浜」駅から市営バス103系統「旭台」「滝の上」下車すぐ

自動車 「根岸不動下」信号から横浜駅根岸道路（横浜市主要地方道80号）へ進み約850m

【駐車場】普通車 200台

【URL】<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/park/negishi/>

【問合せ先】根岸森林公園管理センター 045-641-9185